



「あだち放課後子ども教室」 子どもたちに人気の遊びを紹介!

●あだち放課後子ども教室とは

小学校の校庭、体育館や図書室、教室などで、放課後に子どもたちの自由な遊びや、学習活動の場を提供する教育委員会の事業です。子どもたちが安全・安心して楽しく過ごせるよう、地域の方々が組織した実行委員会が選任するスタッフが見守っています。足立区生涯学習振興公社はその運営を支援しています。

今回は放課後で子どもたちに人気の遊びを紹介します。現在も新型コロナウイルス感染予防に注意しながら、楽しく遊んでいる子どもたちの様子をのぞいてみました。

《室内編》

コロナ禍の今、一人でも楽しめる遊びが人気を集めています。緩衝材のプチプチした感触を繰り返すことができるおもちゃでは「気持ちが良いとずっと触っていたい」と新しい感覚を味わっていました。また、一つひとつコマを並べる「ドミノ倒し」も人気です。息を潜めながらコマを並べる眼差しは真剣そのもの。「倒す瞬間がドキドキする!」と笑顔で話してくれました。この他にも、お馴染みの「折り紙」や「ぬりえ」も根強い人気があります。



プチプチ感が気持ちいい



倒れないようにそーっと

《校庭編》

校庭では、「モルック」というゲームが注目されています。木製の棒を交互に投げて、数字のピンを倒し、得点を競います。投げる時は集中力を、倒したピンの得点の計算は頭を使います。チームで対戦するので、友達同士わいわい盛り上がります。



モルックのピン

子どもたちは、それぞれが楽しみ方を工夫して、今日も元気に活動しています。